

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和元年10月10日

諏訪地域振興局

提出区分		実績			
整理番号		17	課題区分		C
実施機関		諏訪建設事務所		担当課	所属 維持管理課
事業名		河川空間オープン化研究事業			電話 0266-57-2935
				E-mail	suwaken-ijikanri@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	諏訪湖ならではの水辺空間を生かした賑わいの創出や魅力あるまちづくりを進めるための「河川空間オープン化」の計画等を策定するにあたり先進事例地域の視察を行い、今後の進め方等の参考とする。			
	現状と課題	諏訪湖はかつて暮らしと密接に関係した場所であり、諏訪地域の象徴ともいえる場所であるが、高度経済成長期に湖の汚染が進み、人々とのつながりが薄れてきた。諏訪地域の広域下水道の普及などで湖の浄化は進んでいるが、湖と人とのつながりが薄れたままとなっている。			
	内容 (変更後の内容)	河川空間のオープン化の先進事例地(岡崎市、乙川)を視察 ・岡崎市役所(協議会事務局) ・オープン化の現場視察(乙川)			
	事業期間	令和元年9月19日(木)		～	令和元年9月19日(木)
	成果目標 (成果指標)	協議会の運営方法、河川空間オープン化に向けての計画づくり等の具体的な進め方について聞き取りや、実際に行われているイベントや出店状況を見ることにより、諏訪湖で実施する場合のイメージが膨らむ。(具体的な計画策定が進む。)			
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	先進事例地域視察	視察及び意見交換	159,840		
	合計			159,840	
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価
	○河川空間オープン化先進事例地視察 ・実施日:令和元年9月19日(木) ・視察先:愛知県岡崎市 乙川リバーフロント地区(岡崎市役所) ・参加者数:26名(諏訪湖周市町の職員、関係団体、県職員) ・視察内容 ・まちづくりの状況を徒歩及び舟により視察 ・取り組み状況等説明を受け、意見交換を実施		・河川空間のみでなく、河川空間と一体的なまちづくりの状況を実際に徒歩等により確認することが出来た。 ・実際にかわまちづくりを進めてきた担当者から具体的な手続きや苦労話などを聞くことができ、参考となった。 ・かわまちづくりの実施者だけでなく、河川管理者である県の職員からも話を聞くことができ、参考となった。		○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	河川空間オープン化について、今後の取り組みにおける事務手続き上の整理を行い、関係機関と連携して体制枠組みづくりを進める。				